

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
令和2年度採択テーマ
事後評価結果

| 研究テーマ名 | 研究代表者 | 総合評価 |
|--|-------------------|------|
| 常願寺川流域における砂防堰堤群等の機能的な活用による土砂管理手法 (研究期間：R2年度～R4年度) | 京都大学 名誉教授 藤田正治 | A |
| <p><研究概要></p> <p>流砂系の総合土砂管理における砂防堰堤群等の機能的活用方法を検討するために、不透過型および透過型砂防堰堤からなる堰堤群を土砂動態シミュレーションモデルに導入する方法を提案し、土砂管理目標に応じた砂防堰堤配置整備計画に適用できるようにする。また、河川管理区間での環境目標の検討に利用できるように二次元河床変動計算モデルの構築も行う。さらに、総合土砂管理における流砂観測の意義や役割についても明確にする。</p> | | |
| <p><事後評価コメント></p> <p>本研究では、透過型砂防堰堤の土砂調節機能をモデル化して土砂動態シミュレーションモデルに導入し、出水時における上流側の堰堤群と下流側で生ずる堆砂や河床低下に関する定量的な関係性を示した。また流砂観測の意義について危機管理と土砂管理の視点から検討し、これの新たな活用法の提案を行った。これにより、砂防堰堤（透過型・不透過型）の効率的な施設配置計画への活用や下流河川への土砂供給の定量的予測が期待できる。</p> <p>今後は、開発された土砂動態モデルを用いて、種々のシナリオにおける砂防堰堤の機能・効果の評価について検討を進めていただきたい。</p> | | |

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い